

学校
法人 内丸学園
盛岡幼稚園

園報

第 250 号
(9 月)
2019

幼児教育・保育の無償化に伴う課題

盛岡幼稚園 理事長 坂本 洋

本年10月から念願の幼児教育・保育の無償化が始まります。3歳児から5歳児(1号及び2号認定)の幼稚園、保育所、認定こども園を利用している保護者が負担する保育料(利用料金)が無償となります。

ただし、2号認定のお子様の給食の副食費(以前は保育料に算定)は、今後実費費用として施設に直接お支払い頂くことになりました。(1号認定児は、以前から主食・副食費は持参か実費費用として頂いております)

また、1号認定児の教育時間外の午後預かり保育は2号児相当の認定手続きを経て、無償化の対象になります。従来からの延長保

育や病児保育、一時預かり利用料等及び教材実費や行事費等の費用は、今まで通りで無償化の対象になりません。

このように少し複雑で制度の上で改善点があるとされますが、この度の無償化はOECD(経済協力開発機構)の国際調査による、日本の学校教育費の公的支出額が各国に比べ際立って低く、それを補う家庭での負担支出が多額であるとの指摘によるものと考えられます。

さて、無償化が始まる画期的な状況の中で、これからの幼児教育充実の課題が注目されております。

先ずは、今後の社会構造の変化に対する資質や能力育成への対応

です。少子高齢化の進展、経済生産性の維持力向上、一層の国際クローバル化、AI(人工知能)、ICT(情報通信技術)の進展等が予測され、生活様式や働き方に変化があり、生活の価値意識の多様化に及ぶと言われております。

このところ文部科学省ではその変化に備えた資質や能力を培う教育の在り方として、ソサイエティ5(※図1参照)構想に備える議論があります。それを踏まえた幼稚園教育要領の改訂(この度は保育所保育指針の幼児教育の一体化整合性が特徴)が平成30年度から行われております。

新時代を迎える子ども達が未来社会を切り拓く資質や能力として、①知識及び技能の基礎、②思考力、判断力、表現力の基礎、③学びに向かう力、人間性等の3つの柱が強調され、アクティブラーニングを中心とした学びのもとに非認知能力(粘り強くやり抜く力、我慢強い自制心、他との協調性や優しさ等)を含めた具体的な10の姿を示し、小学校就学までに育ってほしい指導内容の充実に力を入れております。

順次小学校、中学校の学習指導

要領もその柱のもとで実施されますが、幼児期の教育は、その土台を培う重要な時期です。

もとより乳幼児の人間形成の基礎を培う第一義的責任は家庭の役割ですが、将来的に子どもが自立することを願い託される施設ですから、国家財政を投入する無償化は、私も施設として更に専門性の高い質の向上を目指す使命が与えられたと考えております。

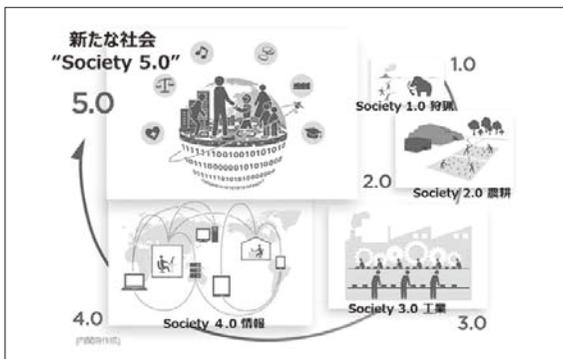


図 1

運動会特集!!



みんな金メダル!

Aクラス担任 竹岡 真美

Aクラスのみんなにとって幼稚園最後の運動会が終わりました。Aクラスが参加したのは、障害物競走、幼稚園伝統のマット取り、バルーン、親子リレーの4つ。どの競技も『Aクラスだからこそできること』であり、みんなで力を出して頑張ろう、かっこいいところを見てもらおう、と練習に取り組んできました。また、Aクラスは競技だけでなく、一人一役の係もありました。開会宣言、プラカード、体操リーダー、応援・チャイラー、閉会宣言。どの役も大事な役として取り組み、それぞれが力を発揮してくれました。

当日、マット取りは3回戦までいく接戦でした。その勝負から気持ち切り替え、次はみんなの心を一つにしてのバルーンの演技。直前に風が吹き始めましたがそれ

にも負けずに技を決め、たくさんの拍手をいただきました。そして、運動会を締めくくるのは親子リレー。園での練習より長い距離を一生懸命走り、お家の人へバトンを繋ぎました。また、お母さん方の綱引きも見事勝利!子ども達も大喜びでした。特に1回戦はなかなか勝負がつかず苦しい戦いでしたが、最後まで諦めず、粘り強く頑張るお母さん方の姿は素晴らしかったです。

閉会式では、頑張ったみんなへ金メダルが贈られました。この日は残念ながら2人が体調不良で欠席してしまいましたが、その子達も前日まで一生懸命取り組んでいたの、Aクラスみんなが金メダル!よく頑張りました。

頑張った運動会!

Bクラス担任 村松 千尋

「あと何回寝たら運動会?」と、指折り数えていた子ども達。当日

は、クラス全員で運動会に参加することができました。Cクラスの時は途中、寂しさから涙が出る子もいましたが、今年は最後まで元気に競技、応援をする姿に一年の成長を感じました。

かけっこは、少しずつ競争という意識が出てきたようで、練習の時から一位を目指して頑張っている子も。長い距離を走りきり、また一つ大きくなったように思いました。リズム『やっぱノリノリー!』は、Cクラスさんよりお兄さん・お姉さんとしてお手本になるよう踊りました。振りを覚えると、すぐにお部屋でもノリノリでダンスをしていた子ども達♪『ニコニコ元気に!』を合言葉に、本番でもみんなのかけ声や笑顔が光っていました。親子競技『三まのおふだ』は、お気に入りの絵本をテーマに。絵本を見せながら話をすると「やったー!」「面白そう」と、お家の人と一緒にやることを楽しみにしていました。当日は、自分たちで作ったお面を被って小僧さんになり、お家の人と力を合わせて障害物をクリアする姿が頼もしかったです。

園児席から声援を送りながら、



「かけっこ、ゴールをめざして!」



「伝統のマット取り」

バルーンやマット取り、リレーなど A クラスさんを見て「やってみたい！」と目を輝かせていた子ども達。来年は、いよいよ年長児として参加する最後の運動会！今から活躍が楽しみですよ。

運動会を終えて

C2クラス担任 瀧山 茉保

幼稚園部になって初めての運動会。「運動会」の言葉にドキドキワクワクしながら練習に取り組んでいました。本番ではいつもとは違う場所や雰囲気だったり、緊張したりして普段通りとは行かない場面もありました。しかし、大好きなお家の方が見ている前で、かけっこをしたり、ダンスをしたり、Cクラスみんなで頑張ることが出来た経験が、子ども達の育ちにつながっているなど感じています。

音楽に合わせて踊ることが大好きな子ども達。運動会で踊った「やっぱノリノリー！」はそんな子ども達にぴったりの曲でした。振り付けも覚えて何度も練習をしていくうちに「もう一度踊りたい」「楽しかったー」という声が聞けるほど、気分もノリノリで踊っ

ていました。本番では、たくさんの人が見ているという緊張感の中で、踊りきることが出来ました。

親子競技では、子ども達が好きな絵本「ぐりとぐら」の世界でも「お家の人と一緒に出る」ことにも大興奮でした。本番では可愛い「ぐりとぐら」に変身して、いろいろな障害物をクリアすることが出来ました。参加して下さったお家の方々、たくさんのご協力、ありがとうございました。これからも、楽しい活動や行事がたくさん待っています。子ども達の成長する姿を楽しみにしながら、支えて見守っていききたいと思っています。

親子で楽しんだ運動会

つほみクラス担任 高橋 来夢

9月当初、運動会に向けて取り組みを始めた頃は「？」がいつぱいの様子の子ども達でしたが遊びの中で先生や友達と一緒にダンスを踊ったり、園庭で「よいどん」の練習をする中で徐々に運動会に向けて、気持ちが進んでいきました。

保育部は「親子で一緒に取り組む運動会」として衣装の飾りつけ

を御家庭にお願いしています。大好きなお父さん、お母さんが作ってくれた衣装という温かみを感じ、お気に入りの衣装を身につけることで楽しみながら練習に取り組むことが出来ました。またダンスの動画を見ながら親子で一緒に振付を覚えていくということも大切な時間であったと思います。

運動会当日、朝は緊張した様子の子どもたちでしたが、競技が始まると張り切って臨む姿、お父さん、お母さんと一緒に楽しんで競技を行う姿が見られました。保護者の皆さまの大きな声援や御協力のおかげで子ども達も頑張ることが出来たと思います。

大きな行事の一つである運動会を終え、いつもと違う場所での不安や緊張もあった中、それでも最後まで頑張ったことや親子で一緒に楽しめたことはきっと子ども達の力となり、これからの育ちに繋がっていくことでしょう。今後一人一人の思いを受け止めながら成長していく姿を温かく見守り、豊かな経験が出来るように支えていきたいと思っています。



「ぐりとぐらのだいぼっけん」



「親子でくだものカーニバル！」

園生活から



「生きる力」を育む食の大切さ

栄養士 伊藤 晶子

以上児も自園給食になり、早いもので二年半が過ぎようとしています。自園給食になり、子どもたちの関わりがますます増えたことを嬉しく感じています。

私達が子どもたちと関わる時間は先生方に比べるとほんのわずかな時間ですが、登降園時や給食の時間に会うと様々なことを話してくれる子どもたち。「今日の給食なあに?」「魚のおかずは苦手だけど頑張って食べたよ」「今日はお母さんがおにぎりにしてくれましたよ」「このおかず好き」「全部食べられたよ」と笑顔で話してくれる様子が日々の給食業務の糧にもなっています。

食事の時間は子どもたちにとって一日のうちで特に楽しみな時間であり、「生きる力」を育む上で大切な時間だと考えます。日々の食事の中で子どもたちは様々なルールやマナー、また旬の食材や行事食、郷土食などを学んでいき

ます。もちろんおいしく味わい、

大好きな家族、友達と食事を摂ることがコミュニケーションを育むことにも繋がります。

おいしい、楽しい記憶とともに子どもたちが「生きる力」を育めるような給食づくりを今後も携わってまいります。

観察園の様子



今年の5月。例年通り、AクラスBクラスでは、それぞれの観察園で育てる野菜や花を話し合いました。普段から親しみのあるものや、凶鑑を見て興味を持ったものなど、たくさん意見が出ました。Aクラスはダイコンやトマト、スイカに加えて、今まで育てたことのない赤しそやパプリカにも挑戦！Bクラスはキュウリ、ナス等の夏野菜と朝顔の花を育てることに決まり、先生と一緒に種や苗を植えました。

毎日、水やりをしたり雑草を取ったりと、生長を楽しみにしながらお世話を続け、園庭に遊びに

出るたびに「芽が出たよ!」「先生!花が咲いてる!」と、小さな変化に気付いて喜んでいた子ども達。頭をつき合わせて観察をする姿が微笑ましい瞬間でした。

そして夏。心待ちにしていた収穫の時期です。トマトやキュウリは毎日のように色づいて大きくなり、みんなで収穫をしたり、実際に食べて味わったりしました。また、朝顔や赤しそを使って色水作りをする子もおり、においや色の違いを感じながら遊びを楽しんでいました。

観察園での活動を通して、たくさんさんの経験も収穫できたようです。

「ハロー Mr.ランドリユー!」

毎月2回、火曜日になると眼鏡をかけた大きな体の先生が、幼稚園の門の上からひよこつと顔を覗かせます。そう、子ども達に英語を教えてくれる「ランドリユー・ステファン・ヒル」先生です。

子ども達はランドリユー先生が来ると「ランドリユーせんせー!」「ハロー!」とあちこちから声をかけ、ハイタッチしたり抱きついたり。英語のレッスンを楽しんでいます♪

編集後記

今年も暑い夏!でした...。年長児が植えた野菜は今年も大収穫。その中でも一番の楽しみはずいかに「収穫」。まだかまだかと楽しみにしていたところ...いつの間にか、接ぎ木の野菜に軍配があがり(瓜?)収穫ならず...でした。

園児の「生活リズムに関するアンケート」を行い、年齢に必要な睡眠時間はおおむね確保されていることがわかりました。生活リズムを整えることは大変ですが、幼児期に十分な睡眠時間をとることが、今後の育ちに大きく影響することでもわかってきたようです。

今年度の園内研修では「子どもを理解し遊びの質を高める援助」をテーマに月一回、学びあいをしています。これからも子ども達に寄り添いながら元気に過ごしていけるよう見守っていききたいと思えます。

学校法人 内丸学園
幼保連携型認定こども園
盛岡幼稚園
〒020-0021
盛岡市中央通一六四七
TEL 六二二-二三〇一
理事長 坂本 洋